

IT活用家族つなぐ

介護施設利用者に年賀メール

NPO未来

県中部を中心に活動するNPO法人未来は「Touch(タッチ)第一弾として取り組む



利用者らに送られる写撮るメールの見本

のが「写撮るメール」事業。介護施設の利用者と遠方の家族が写真などを送り合う年賀メールで、施設利用者や家族をつなぐ新しいサービスとして注目される。

「写撮るメール」は県中部の2施設で実施。施設利用者の家族などが携帯電話やパソコンから送ったメッセージや写真を同NPOがパネルにして利用者に届け、受け取った利用者の様子を送信されたパソコンや携帯電話に送り返す。

今後は成人式や誕生日などにも利用できるようサービスを充実させる予定。ディサービス施設で勤務経験のある同NPOのIT支援員、勝原幸恵さん(26)は「コミュニケーションがとりたくても、とれない人も多い。速くに住む家族との交流にもなるので利用してほしい」と期待を寄せている。

「Touchで介護」事業は、ITを活用して介護業務の効率化を図るほか、施設、施設利用者、家族が介護情報を共有したり、互いにコミュニケーションが行えるようにする。介護現場の意見を聞きながら2011年度中のシステム完成を目指している。